

2015年度 海洋問題演習 実施内容

学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養する応用型の教育科目であり、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチを具体的課題に即して学ぶことが目的である。海洋に関わる政策的トピックについて、各専門分野及び実務経験者から講師を得て、様々な角度からの議論を展開する。ケーススタディーという形を用いることで、専門の違いにとらわれず、問題解決に必要な知見を駆使して、受講者自らが政策を企画することを目指す。

夏学期は「場の利用」、「資源の利用」、「安全な利用」という3つの観点から学内外から第一人者を招聘して講義形式で進め、冬学期はいくつかにテーマを絞って議論を中心に演習を進める。

1. 『場の利用』

- 第1回 4月13日 「ミニ海洋・日本海の果たす役割について考える」
蒲生 俊敬（東京大学大気海洋研究所 教授）
- 第2回 4月20日 「岩手県の漁業における東日本大震災からの復旧・復興の現状と課題」
後藤 友明（岩手県水産技術センター 上席専門研究員）
- 第3回 4月27日 「沿岸域の環境再生と住民参加」
三上 直之（北海道大学高等教育推進機構 准教授）
- 第4回 5月11日 「沿岸域の『管理』と法制度-災害防御・自然環境保全・利用調整の法的仕組み-」
三浦 大介（神奈川大学法学部 教授）

2. 『資源の利用』

- 第5回 5月18日 「ワシントン条約などの環境関連国際会合における海洋生物種関連議論の動向」
金子 与止男（岩手県立大学総合政策学部 教授）
- 第6回 5月25日 「海洋の生物多様性」
白山 義久（海洋研究開発機構(JAMSTEC) 理事）
- 第7回 6月1日 「海洋生物の保全と持続的利用」
海部 健三（中央大学法学部 講師）
- 第8回 6月8日 「海底鉱物資源開発をめぐる国際法」
西本 健太郎（東北大学大学院法学研究科 准教授）

3. 『安全な利用』

- 第9回 6月15日 「海上交通の安全と日本の安全保障」
秋葉 剛男（外務省 国際法局長）
- 第10回 6月22日 「地震・津波防災と沿岸の安全な利用」
目黒 公郎（東京大学生産技術研究所 教授）
- 第11回 6月29日 「津波への備え」
富田 孝史（港湾空港技術研究所アジア・太平洋沿岸防災研究センター 副センター長）
- 第12回 7月6日 「島と海」
三木 剛志（全国離島振興協議会 公益財団法人日本離島センター 調査課長）

※これらは予定であり、変更の可能性があります。